

安全・安心で持続可能な公共施設等のサービスの維持を実現するために 下野市公共施設等総合管理計画を策定しました

計画策定の目的

日本の人口は、今後減少するとともに高齢化が進むことが予想され、同時に公共施設の老朽化の進行が全国的な問題となっています。本市においても、将来、人口や税収が減っていく一方、公共施設の改修・更新にかかる費用は増加していくことが見込まれ、今ある施設をそのまま維持し続けることは困難な状況が予想されます。

このことから、保有する公共施設等（インフラを含む）を対象に、統廃合や長寿命化などを計画的に行うことにより、安全・安心で持続可能な公共施設等のサービスの維持を実現できるよう、今後の公共施設等のあり方について基本的な考え方を示した「下野市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

計画策定にあたっては、有識者や各種団体の代表者、公募の市民から構成される「下野市公共施設マネジメント検討委員会」を設置し、検討を行うとともに、市民アンケートやパブリックコメントなどを経て平成29年3月に公表しました。



検討委員会の様子

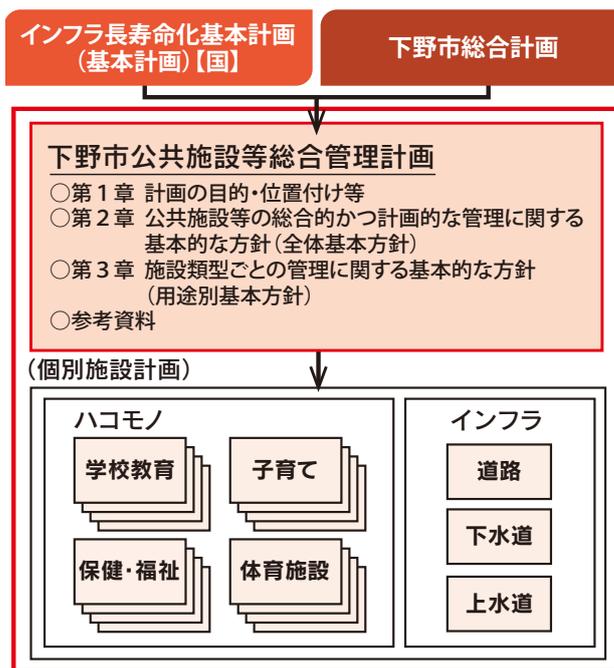
計画期間

平成29年度～平成58年度までの30年間
(概ね5年ごとに見直します)

対象となる施設

原則として市が保有する全ての公共施設等とします。分類は次のとおりです。

分野（大区分）	施設類型	
公共施設 (ハコモノ)	コミュニティ関連施設、保健・福祉施設、子育て支援施設、農業振興施設、市営住宅、公園施設、消防・防災施設、学校教育施設、社会教育施設、文化施設、体育施設、庁舎等、その他	13類型
都市基盤施設 (インフラ)	道路、下水道、上水道	3類型



【公共施設マネジメントにおいて市が策定する範囲】

計画の体系



ハコモノ（石橋体育センター）



インフラ（1級市道）